

船越漁港（愛南町船越外）（第2種）

【船越漁港の概要】

本漁港は、愛媛県の西南端に位置し、平坦地の少ない南予特有のリアス海岸で形成され、いわしまき網漁業を主としていたが、昭和30年代に不漁となり、新たに真珠、はまち養殖漁業及び一本釣漁業に転換を図り、中でも養殖漁業の発展は著しいものがあった。

現在はまだい、ぶり類等の養殖が盛んに営まれ、県下有数の水揚げ漁港となっている。

【事業の目的】

本漁港は、生産拠点漁港として、また周辺海域の漁船にとって異常気象時における避難港として、整備が進められてきたが、過去整備した施設の中には既に老朽化が進んでいるものもある。

現在も地域漁業の拠点、漁船の避難港としての役割を担っており、施設の老朽化とともに更新を必要とする施設が増加してきていることから、施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの縮減を図るための計画的な取組が必要である。

【事業期間、事業費、整備内容】

令和7年度～令和10年度（予定）

9百万円（予定）

物揚護岸（補修）

事業費に対する財源内訳

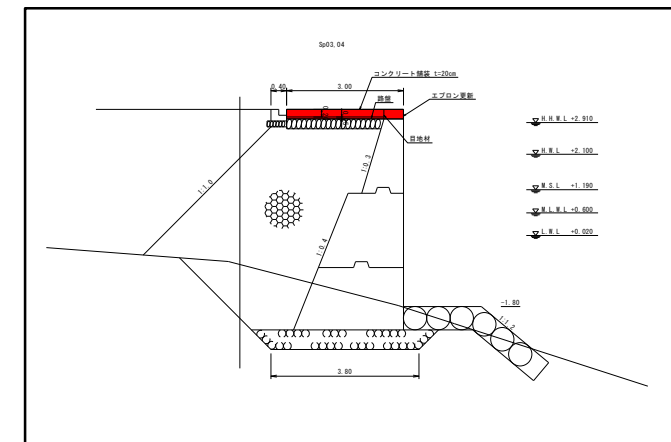
県補助 (50%)	起債 (35%)	一般財源 (15%)
450万円	315万円	135万円



エプロン舗装損傷状況（うき）



エプロン舗装損傷状況（ひび割れ）



福浦漁港（愛南町福浦外）（第2種）



【福浦漁港の概要】

本漁港は、愛媛県の西南端に位置し、平坦地の少ない南予特有のリアス海岸の天然の良港である。古くからいわしまき網漁業を主としていたが、昭和30年代後半の不漁により、養殖漁業への転換が図られた。

現在は魚類養殖が主体に営まれまい、ぶり等の養殖が盛んに営まれ、県下有数の水揚げ港となっている。

【事業の目的】

本漁港は、生産拠点漁港として、また周辺海域の漁船にとって異常気象時における避難港として、整備が進められてきたが、過去整備した施設の中には既に老朽化が進んでいるものもある。

現在も地域漁業の拠点、漁船の避難港としての役割を担っており、施設の老朽化とともに更新を必要とする施設が増加してきていることから、施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの縮減を図るための計画的な取組が必要である。

【事業期間、事業費、整備内容】

令和7年度～令和12年度（予定）

368百万円（予定）

防波堤（補修）外4工種

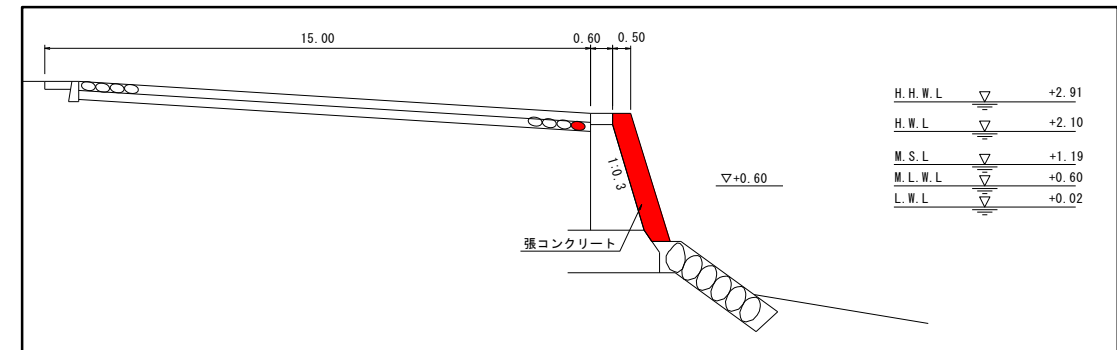
事業費に対する財源内訳		
県補助 (50%)	起債 (35%)	一般財源 (15%)
18,400万円	12,880万円	5,520万円



上部工損傷状況（ひび割れ）



上部工損傷状況（開き）



補修断面（張コンクリート）

西浦漁港（愛南町内泊外）（第2種）

【西浦漁港の概要】

国立宇和海海中公園に隣接した本漁港は、昭和31年をピークにまき網漁が不漁となり、それを機に宇和海を中心とした好漁場での一本釣漁業への転換を図るとともに、とる漁業からつくる漁業という発想のもと、養殖漁業への進出を行い、現在はまだい、ぶり類等の養殖が盛んに営まれ、県下有数の水揚げ漁港となっている。

また近年の釣ブームによる磯釣客が増大し観光漁業も盛んになってきている。

【事業の目的】

本漁港は、生産拠点港として、また周辺海域の漁船にとって異常気象時における避難港として、整備が進められてきたが、過去整備した施設の中には既に老朽化が進行しているものもある。

現在も地域漁業の拠点、漁船の避難港としての役割を担っており、これまでに整備された施設の機能が引き続き発揮されるよう、施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの縮減を図るための計画的な取組が必要である。

【事業期間、事業費、整備内容】

令和7年度～令和8年度（予定）

16百万円（予定）

防波堤（補修）

事業費に対する財源内訳

県補助 (50%)	起債 (35%)	一般財源 (15%)
800万円	560万円	240万円



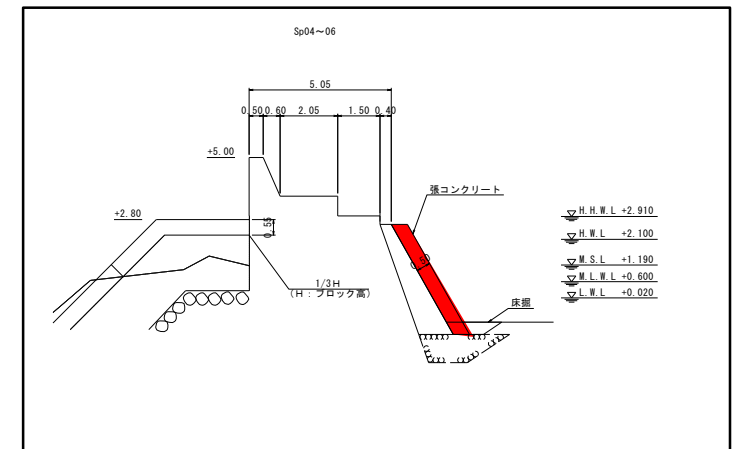
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の7万7千分の1地形図を複製したものである。（承認番号：平16四複第57号）」を加工したもの。



本体工損傷状況（ひび割れ）



本体工損傷状況（欠損）



補修断面（張コンクリート）

柏崎漁港（愛南町柏外）（第2種）



【柏崎漁港の概要】

本地区は、愛媛県の南端、国道56号線に沿った、壺型をした僅少な平坦地に開けた港で、古くより漁船漁業が盛んであったが、漁船漁業不振から昭和30年代より養殖業の導入をして各養殖業の好景気に支えられ、漁業形態が養殖業（真珠母貝）主体の地区となっている。

【事業の目的】

本漁港は、生産拠点港として、また周辺海域の漁船にとって異常気象時における避難港として、整備が進められてきたが、過去整備した施設の中には既に老朽化が進行しているものもある。

現在も地域漁業の拠点、漁船の避難港としての役割を担っており、これまでに整備された施設の機能が引き続き発揮されるよう、施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの縮減を図るための計画的な取組が必要である。

【事業期間、事業費、整備内容】

令和7年度～令和8年度（予定）

12百万円（予定）

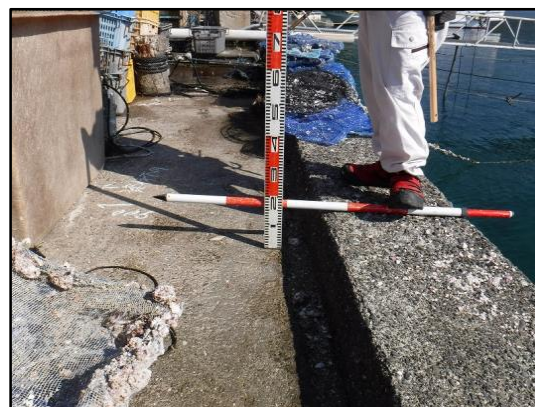
物揚場（補修）

事業費に対する財源内訳

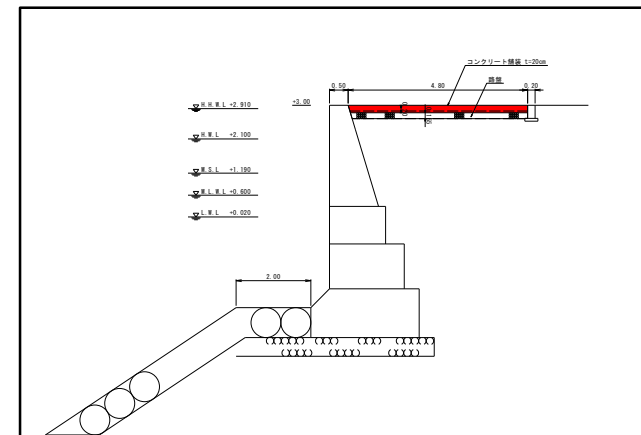
県補助 (50%)	起債 (35%)	一般財源 (15%)
600万円	420万円	180万円



エプロン舗装損傷状況（ひび割れ）



エプロン舗装損傷状況（沈下）



補修断面（エプロン舗装）

御荘漁港（愛南町御荘平山外）（第1種）

【御荘漁港の概要】

本漁港は愛南町中心部から西6kmに位置し、昭和25年頃よりカタクチイワシ並びに一本釣の漁獲により発展してきた。漁港としては宇和海に面して海水浴場としても利用されている室手、リアス海岸の御荘湾北側に形成された銭坪、平山の3地区を有している。まき網、小型底引き網のほか、まだい、かき等の養殖も盛んである。

【事業の目的】

本漁港は、生産拠点港として、また周辺海域の漁船にとって異常気象時における避難港として、整備が進められてきたが、過去整備した施設の中には既に老朽化が進行しているものもある。

現在も地域漁業の拠点、漁船の避難港としての役割を担っており、これまでに整備された施設の機能が引き続き発揮されるよう、施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの縮減を図るための計画的な取組が必要である。

【事業期間、事業費、整備内容】

令和7年度～令和9年度（予定）

37百万円（予定）

物揚護岸（補修）

事業費に対する財源内訳

県補助 (50%)	起債 (35%)	一般財源 (15%)
1,850万円	1,295万円	555万円



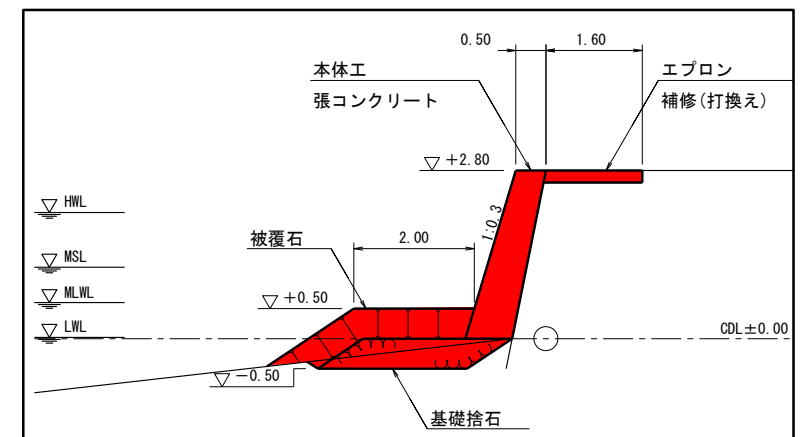
【この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の7万7千分の1地形図を複製したものである。（承認番号：平16四複第57号）】を加工したもの。



本体工損傷状況（ひび割れ）



エプロン舗装損傷状況（消失）



補修断面（張コンクリート+エプロン舗装）

家串漁港（愛南町家串）（第1種）

【家串漁港の概要】

本漁港は由良半島基部南側に位置し、南西に開けた天然の良港であり、漁港は防波堤等のほか、集落排水施設も整備されている。古くから沿岸の漁船漁業が盛んであったが、漁船漁業の不振から昭和30年代後半に魚類養殖・真珠母貝の養殖を導入し、各養殖業の好景気に支えられ、漁業形態が養殖業（まだい、真珠母貝）主体の地区となっており、県外への出荷も行われている。

【事業の目的】

本漁港は、生産拠点漁港として、また周辺海域の漁船にとって異常気象時における避難港として、整備が進められてきたが、過去整備した施設の中には既に老朽化が進んでいるものもある。

現在も地域漁業の拠点、漁船の避難港としての役割を担っており、施設の老朽化とともに更新を必要とする施設が増加してきていることから、施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの縮減を図るための計画的な取組が必要である。

【事業期間、事業費、整備内容】

令和7年度（予定）

11百万円（予定）

臨港道路（補修）

事業費に対する財源内訳

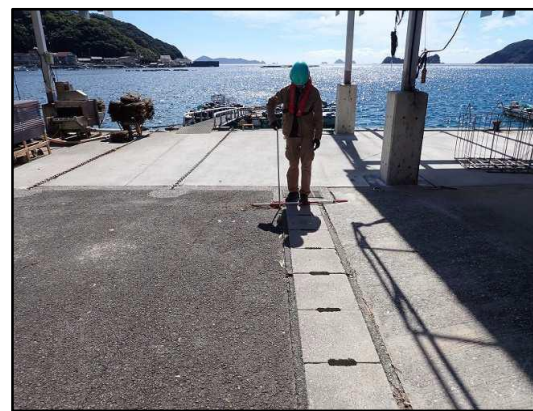
県補助 (50%)	起債 (35%)	一般財源 (15%)
550万円	385万円	165万円



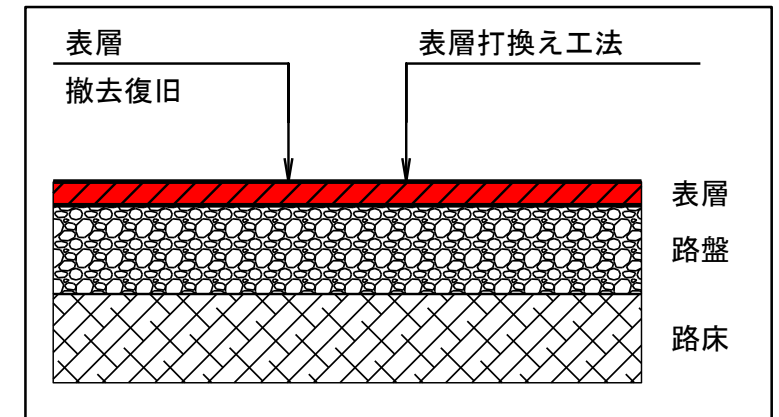
【この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の7万7千分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平16四複 第57号）】を加工したもの。



アスファルト舗装損傷状況（ひび割れ）



アスファルト舗装損傷状況（段差）



補修断面（アスファルト舗装）

魚神山漁港（愛南町魚神山）（第1種）



【魚神山漁港の概要】

本漁港は由良半島先端南側の漁港で宇和海に面している。古くから沿岸の漁船漁業が盛んであったが、漁船漁業の不振から昭和30年代後半に真珠母貝の養殖を導入し、各養殖業の好景気に支えられ、漁業形態が養殖業（真珠母貝、その他貝類）主体の地区となっており、県外への出荷も行われている。

【事業の目的】

本漁港は、生産拠点漁港として、また周辺海域の漁船にとって異常気象時における避難港として、整備が進められてきたが、過去整備した施設の中には既に老朽化が進んでいるものもある。

現在も地域漁業の拠点、漁船の避難港としての役割を担っており、施設の老朽化とともに更新を必要とする施設が増加してきていることから、施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの縮減を図るための計画的な取組が必要である。

【事業期間、事業費、整備内容】

令和7年度～令和9年度（予定）

13百万円（予定）

物揚場（補修）

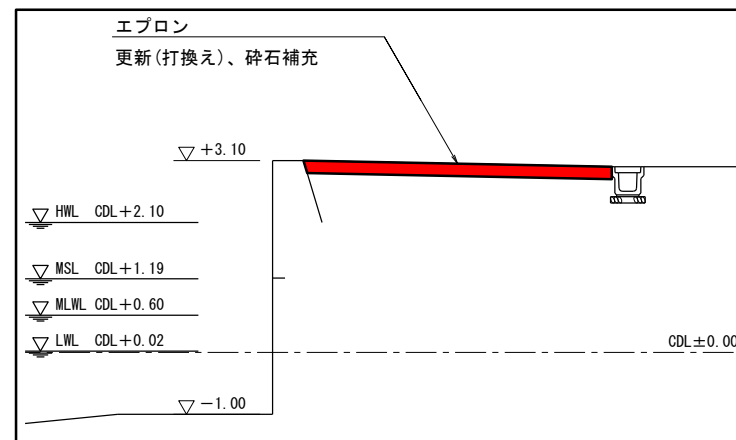
事業費に対する財源内訳		
県補助 (50%)	起債 (35%)	一般財源 (15%)
650万円	455万円	195万円



エプロン舗装損傷状況（沈下）



エプロン舗装損傷状況（ひび割れ）



補修断面（エプロン舗装）